

都市再生整備計画 事後評価シート

芳賀地区

平成31年 3月

山形県天童市

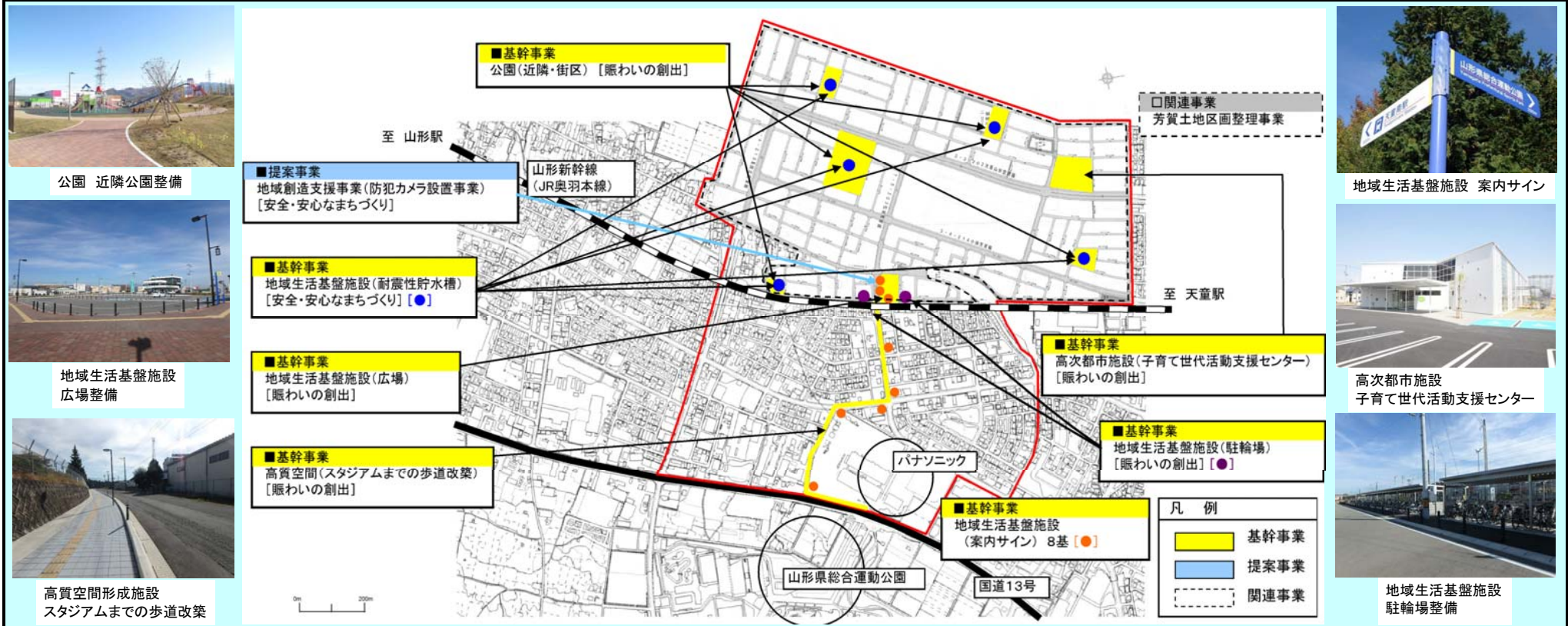
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県		市町村名	天童市		地区名	芳賀地区			面積	136ha		
交付期間	平成24年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	2562百万円	国费率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(近隣公園、第1号街区公園、第2号街区公園、第3号街区公園)、地域生活基盤施設(広場、駐輪場、情報版、地域防災施設)、高質空間形成施設(歩道整備)、高次都市施設(子育て世代活動支援センター)										
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	地域創造支援事業(調整池)		地区内に用地を求めることができず、地区外に設置することとなったため。				市の単独事業として、整備計画の隣接地域に設置するという変更であり、当該地区における排水処理機能は失われないため、指標には影響しない。				
新たに追加した事業	基幹事業	公園(第4号街区公園)		良好な居住環境の整備による定住人口の増加と、本市の新たな生活交流拠点を形成するため追加した。				指標3「住みよさ」に影響するが、他の要因で変動する可能性もあるため、指標及び数値目標は据え置く。					
	提案事業	地域創造支援事業(防犯カメラ設置事業)		更なる安全で快適な住環境の整備を図るため。				指標3「住みよさ」に影響するが、他の要因で変動する可能性もあるため、指標及び数値目標は据え置く。					
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				指標1「子育て支援施設の利用者」、指標2「転入者数と転出者数」に影響するが、指標及び数値目標は据え置く。						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
	指標1	子育て支援施設の利用者	人	40,501	H22	158,000	H29	272,000	306,159	○	あり なし	芳賀地区にオープンした「子育て世代活動支援センター」の利用者数がモニタリング時の値を上回り、目標の達成となった。土地区画整理事業により新しい街が形成され、子育て世代が増加したことや、拠点となる施設が整備されたことで、利用者が増加したと考えられる。	予定時期
	指標2	転入者数と転出者数	人	0.95	H22	1.00	H29	1.10	1.01	○	あり なし	転入者数－転出者数の割合が目標の100を上回っており、目標の達成となった。天童市全体が魅力あるまちとして県内外の人々に認知され、天童市に住みたいと思う人が多くなり、関連事業である芳賀土地区画整理事業の整備も相まって、外国人も含めた転入者が増えていると考えられる。	
	指標3	住みよさ	%	79.8%	H21	80.0%	H29	85.2%	86.3%	○	あり なし	整備効果がアンケートに反映され、目標達成となった。芳賀地区が整備されたことにより賑わいの創出や利便性が向上し、市民が住みよさと感じる割合が増えたものと考えられる。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
	その他の数値指標1	住みよさランキング(東洋経済新報社)北海道・東北	位(偏差値)	4(53.09)	H22			2(55.12)	2(54.64)			雑誌社が行う「住みよさランキング」は多角的な面から考察して各自治体を順位づけしており、本市において住みよさまちづくりが進んでいることが確認できる。	予定時期
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 芳賀土地区画整理事業地内に大型商業施設ができ、多くの買い物客や観光客で賑わっている。また、市内での買い物が便利になった。 天童南駅の設置により、まちの利便性も高まり、市内外はもとより県外からも人が集まり、まちに賑わいが創出されている。 土地区画整理事業に合わせた子育て支援施設の開設により、子育て世代の定住が進んでいる。 												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	現時点での指標の集計から推計値によって事業効果を分析	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● モニタリング時同様に、事後評価により事業効果を確認する。						
	住民参加プロセス	芳賀タウン内の公園に係る説明会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 役割を終えているため終了。						
		近隣公園 公園開きの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も情報を発信していく。						
持続的なまちづくり体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

様式2-2 地区の概要

芳賀地区(山形県天童市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:生活交流拠点の賑わい創出 ■安心して子育てができる環境づくりを図る ■人口維持と回復を図るために安全で快適な住環境の整備を図る	子育て支援施設の利用者	単位:人	40,501	H22	158,000	H29	306,159	H29
	転入者数と転出者数	単位:人	0.95	H22	1.00	H29	1.01	H29
	住みよさ	単位:%	79.8%	H21	80.0%	H29	86.3%	H29
	住みよさランキング (東洋経済新報社)北海道・東北	単位:位(偏差値)	4(53.09)	H22			2(54.64)	H30



公園 近隣公園整備



地域生活基盤施設
広場整備



高質空間形成施設
スタジアムまでの歩道改築



地域生活基盤施設 案内サイン



高次都市施設
子育て世代活動支援センター



地域生活基盤施設
駐輪場整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 芳賀地区に「子育て世代活動支援センター」が整備され、子育て相談や子育て世代向けの学習会等が積極的に行われるようになり、利用者同士の交流が促された。 また、降雪期や雨天時、夏季の高温時など天候に左右されず、子どもが自由に遊び、親子がふれあい、交流を深めることができるようになった。 関連事業である芳賀土地区画整理事業の効果もあり、魅力的なまちになったことで、芳賀地区への転入者が増え、定住が進んでいる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援施設利用者の維持:子育て支援施設を訪れた利用者が、安心して何度でも利用したくなるような取り組みを実施する。 公園や広場の良好な環境の維持:公園や広場は多くの方々を利用されるため、安全で快適に利用できるよう、継続的な維持管理を行う。 地域コミュニティの形成:区画整理事業地内では、町内会等のコミュニティが組織されていないところもあるため、早期の組織づくりを助長する。 芳賀地区への定住促進:現在住んでいる子どもたちが、将来的に芳賀地区に住みたいと思えるような環境づくりを検討する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6-当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7-事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8-評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9-有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園	近隣公園	620.0	A=14,363㎡	292.0	A=10,219㎡	規模・事業費の見直し	整備内容の精査により、事業規模・事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
	第1号街区公園	124.0	A=3,000㎡	69.0	A=3,000㎡	事業費の見直し	整備内容の精査により、事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
	第2号街区公園	124.0	A=3,000㎡	103.0	A=4,000㎡	規模・事業費の見直し	整備内容の精査により、事業規模・事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
	第3号街区公園	82.0	A=1,600㎡	40.0	A=1,600㎡	事業費の見直し	整備内容の精査により、事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
	第4号街区公園	-	-	94.0	A=3,200㎡	事業効果促進のため平成26年計画変更の際追加	指標3「住みよさ」に影響するが、他の要因で変動する可能性もあるため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	広場	72.0	A=2,057㎡	306.0	A=4,000㎡	規模・事業費の見直し	整備内容の精査により、事業規模・事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
	広場前駐輪場	6.0	駐輪場 A=180㎡×2	28.0	駐輪場 A=180㎡×2	事業費の見直し	整備内容の精査により、事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
	市道山形天童駅前線、松城南線	1.0	情報版 N=6基	7.0	情報版 N=8基	規模・事業費の見直し	整備内容の精査により、事業規模・事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
	近隣公園、第1～4号街区公園	60.0	地域防災施設 N=1基	127.0	地域防災施設 N=5基	規模・事業費の見直し	整備内容の精査により、事業規模・事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
高質空間形成施設	市道東芳賀29号線～市道松城芳賀線～(主)山形天童線～市道松城南線～国道13号	117.0	歩道整備(誘導舗装) L=900m	67.0	歩道整備(誘導舗装) L=900m	事業費の見直し	整備内容の精査により、事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	
高次都市施設	〔仮称〕子育て支援施設	1,274.0	子育て世代活動支援センター A=10,476㎡	1,422.0	子育て世代活動支援センター A=10,476㎡	事業費の見直し	整備内容の精査により、事業費を変更したが、指標への影響は僅少であり指標の変更を要しない。	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	調整池	369.0	V=28,000m3	-	-	事業効果促進のため平成26年計画 変更の際削除	市の単独事業として、整備計画の隣接地域に設置するという変更で あり、当該地区における排水処理機能は失われないため、指標に は影響しない。	-	-
	防犯カメラ設置事業	-	-	4.0	2基	事業効果促進のため平成26年計画 変更の際追加	指標3「住みよさ」に影響するが、他の要因で変動する可能性もある ため、指標及び数値目標は据え置く。	●	
事業活用調査	事業効果分析	3.0	事業効果分析等	3.0	事業効果分析等	変更なし		●	
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
芳賀土地区画整理事業		芳賀土地区画整理事業 地内	10,086.0	10,547.0	平成19年度～平成28年度	平成19年度～平成32年度	事業中	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	見込み	モニタリング	事後評価	あり	なし
指標1	子育て支援施設の利用者	人			40,501	H22	158,000	H29	モニタリング	H28	272,000	モニタリング	○		
									事後評価	確定 ●	306,159	事後評価	○		
指標2	転入者数と転出者数	人			0.95	H22	1.00	H29	モニタリング	H28	1.10	モニタリング	○		
									事後評価	確定 ●	1.01	事後評価	○		
指標3	住みよさ	%			79.8%	H21	80.0%	H29	モニタリング	H28	85.2%	モニタリング	○		
									事後評価	確定 ●	86.3%	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	芳賀地区にオープンした「子育て世代活動支援センター」の利用者数がモニタリング時の値を更に上回り、目標の達成となった。土地区画整理事業により新しい街が形成され、子育て世代が増加したことや、拠点となる施設が整備されたことで、利用者が増加したと考えられる。	特になし
指標2	転入者数÷転出者数の割合が目標の1.00を上回っており、目標の達成となった。天童市全体が魅力あるまちとして県内外の人々に認知され、天童市に住みたいと思う人が多くなり、関連事業である芳賀土地区画整理事業の整備も相まって、外国人も含めた転入者が増えていると考えられる。	特になし
指標3	整備効果がアンケートに反映され、目標達成となった。芳賀地区が整備されたことにより賑わいの創出や利便性が向上し、市民が住みよいと感じる割合が増えたものと考えられる。	特になし

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測

指標		単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
				基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	住みよさランキング (東洋経済新報社)北海道・東北	位 (偏差値)	・毎年東洋経済新報社から発表される「住みよさランキング」より、北海道・東北地区内における天童市のランキングを確認する。			4 (53.09)	H22	モニタリング	H28	2 (55.12)	雑誌社が行う「住みよさランキング」は多角的な面から考察して各自治体を順位づけしており、本市において住みよいまちづくりが進んでいることが確認できる。	特になし
								事後評価	確定 ●	2 (54.64)		
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・芳賀土地区画整理事業地内に大型商業施設ができ、多くの買い物客や観光客で賑わっている。また、市内での買い物が便利になった。
- ・天童南駅の設置により、まちの利便性も高まり、市内外はもとより県外からも人が集まり、まちに賑わいが創出されている。
- ・土地区画整理事業に合わせた子育て支援施設の開設により、子育て世代の定住が進んでいる。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
現時点での指標の集計から推計値によって事業効果を分析	予定どおり実施した	● [実施頻度]平成28年度に1回 [実施時期]平成28年4月～8月 [実施結果] 各指標について事業期間中の値を把握することで、モニタリング時における事業効果の発現を確認することができた。	モニタリング時同様に、事後評価により事業効果を確認する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
芳賀タウン内の公園に係る説明会の開催	予定どおり実施した	● [実施頻度]1回 [実施時期]平成29年10月13日 [実施結果] 芳賀タウン内の公園の整備状況や名称について、地元住民の方々の理解をいただき、円滑に事業を進めることができた。	役割を終えているため終了。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
近隣公園 公園開きの開催	予定どおり実施した	● [実施頻度]1回 [実施時期]平成29年12月9日 [実施結果] 近隣公園が開園したことを、多くの市民の方々に周知することができた。	今後も情報を発信していく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
天童市社会資本総合整備計画 (芳賀地区都市再生整備計画)事後評価検討委員会	建設部長、健康福祉部子育て支援課長、市民部市民課長、経済部商工観光課長、建設部建設課長、総務部市長公室室長補佐	平成31年1月18日	都市計画課都市整備係 (都市再生整備計画担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標1		指標2		指標3		その他の数値指標1	
		指標名	子育て支援施設の利用者	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園(近隣公園)	○	芳賀地区にオープンした「子育て世代活動支援センター」の利用者数がモニタリング時の値を更に上回り、目標の達成となった。土地区画整理事業により新しい街が形成され、子育て世代が増加したことや、拠点となる施設が整備されたことで、利用者が増加したと考えられる。	◎	転入者数÷転出者数の割合が目標の1.00を上回っており、目標の達成となった。天童市全体が魅力あるまちとして県内外の人々に認知され、天童市に住みたいと思う人が多くなり、関連事業である芳賀土地区画整理事業の整備も相まって、外国人も含めた転入者が増えていると考えられる。	◎	整備効果がアンケートに反映され、目標達成となった。芳賀地区が整備されたことにより賑わいの創出や利便性が向上し、市民が住みよいと感じる割合が増えたものと考えられる。	◎	◎
	公園(第1号街区公園)	○							
	公園(第2号街区公園)	○							
	公園(第3号街区公園)	○							
	公園(第4号街区公園)	○							
	広場	○							
	駐輪場	○							
	情報版	○							
	地域防災施設	-							
	歩道整備(誘導舗装)	○							
子育て世代活動支援センター	◎								
提案事業	防犯カメラ設置事業	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	事業効果分析	-	-	-	-	-	-	-	
関連事業	天童市芳賀土地区画整理事業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	指標3	その他の数値指標1
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を大きく上回る利用者数が確認されているため、利用者が安心して何度も利用しやすくなるような取組を実施する必要がある。 ・新設された「子育て世代支援センター」をより活用すべく、各種講座、イベントの企画及びPRなど、継続して利用者数を確保できるような体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な住環境に向けた取り組みを継続して実施することで、地域住民の満足度の向上に繋がりが、転出者数を減らしていけるようにする。 ・関連事業である芳賀土地区画整理事業との継続した連携を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連事業である天童市芳賀土地区画整理事業との継続した連携を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該計画を含めた、これまでのまちづくり施策の評価を行いながら、更なる住みよいまちづくりを進める必要がある。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別													
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	公園(近隣公園)												
	公園(第1号街区公園)												
	公園(第2号街区公園)												
	公園(第3号街区公園)												
	公園(第4号街区公園)												
	広場												
	駐輪場												
	情報版												
	地域防災施設												
	歩道整備(誘導舗装)												
子育て世代活動支援センター													
提案事業	防犯カメラ設置事業												
	事業効果分析												
関連事業	天童市芳賀土地区画整理事業												

※目標未達成への影響度
 ××:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △:数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ:内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ:外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ:外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
天童市社会資本総合整備計画 (芳賀地区都市再生整備計画)事後評価検討委員会	建設部長、健康福祉部子育て支援課長、市民部市民課長、経済部商工観光課長、建設部建設課長、総務部市長公室室長補佐	平成31年1月18日	都市計画課都市整備係 (都市再生整備計画担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
降雪期や雨天時において子どもたちが安全に遊ぶことのできる屋内の施設がなく、山形市や東根市に出かけている家庭もあり、多くの市民から設置を求められている。	芳賀地区に「子育て世代支援センター」が整備され、子育て相談や子育て世代向けの学習会が積極的に行われるようになり、利用者同士の交流が促された。また、あわせて、降雪期や雨天時、夏季の高温時など天候に左右されず、子どもたちが自由に遊び、親子がふれあい、交流を深めることができるようになった。	引き続き、子育て世代を支援するような各種講座、イベントを継続していく体制づくりが必要である。	
平成12年以降、宅地供給を目的とする区画整理事業が休止したことにもない、天童市の人口は減少の一途をたどっている。アパート暮らしの子育て世代が家を建てる際に市外へ転出する事例も多く、人口流出を防ぐ早急な対応が必要である。	関連事業である芳賀土地区画整理事業の効果もあり、魅力的なまちになったことで、芳賀地区への転入者が増え、定住が進んでいる。	当事業の施行によりハード面の整備は充実してきたので、ソフト面の事業を充実させていくことが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業地内では町内会等の地縁団体が組織されていないところもあり、新たな地域の問題を解決することが難しくなっており、早期の組織づくりが課題となっている。 ・現在芳賀地区に住んでいる子どもたちが、将来的に芳賀地区に住みたいと思えるような環境づくりが求められる。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	子育て支援施設利用者の維持	子育て支援施設を訪れた利用者が、安心して何度でも利用したくなるような取り組みを実施する。	・各種講座、イベントの企画及びPR ・SNSなどを利用した情報発信
	公園や広場の良好な環境の維持	公園や広場は多くの方々が利用されるため、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行う。	・継続的な維持管理、補修整備 ・地元住民と行政による清掃活動

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	地域コミュニティの形成	区画整理事業地内では、町内会等のコミュニティが組織されていないところもあるため、早期の組織づくりを助長する。	・コミュニティ形成の助長
	芳賀地区への定住促進 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	現在芳賀地区に住んでいる子どもたちが、将来的に芳賀地区に住みたいと思えるような環境づくりを検討する。	・ソフト面の整備の検討 ・市内での働く場所の充実

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input checked="" type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・土地区画整理事業地内の道路は交通量も多いので、今後のまちづくりの課題となってくると考えられる。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	子育て支援施設の利用者	人	40,501	H22	158,000	H29	確定 ●	306,159	○	あり	→	予定なし		
							見込み			なし				
指標2	転入者数と転出者数	人	0.95	H22	1.00	H29	確定 ●	1.01	○	あり	→	予定なし		
							見込み			なし				
指標3	住みよさ	%	79.8%	H21	80.0%	H29	確定 ●	86.3%	○	あり	→	予定なし		
							見込み			なし				
指標4							確定			あり	→			
							見込み			なし				
その他の数値指標1	住みよさランキング (東洋経済新報社)北海道・東北	位 (偏差値)	4 (53.09)	H22	/	/	確定 ●	2 (54.64)	/	/	→	予定なし		
その他の数値指標2					/	/	確定		/	/	→			
その他の数値指標3					/	/	確定		/	/	→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	指標1～3、その他指標全てに整備効果が表れ、目標を達成することができた。	指標を把握する作業の時期と、指標に影響を与える施設の整備時期を含めて作業工程の検討を行う。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	各指標とも事業内容に整合した指標を設定することができた。	地区のまちづくり目標を十分反映させた数値目標とすることで、事業との整合性を図る。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	優先すべき事項の検討や見直しを行い、事業計画書の変更を行いながら円滑に事業を進めることができた。またモニタリング(中間評価)を実施したことで、整備効果を確認することができた。	常に事業進捗状況を把握することで、円滑な事業実施を図る。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	天童市ホームページ掲載	平成31年1月25日～2月8日	平成31年1月25日～2月8日	担当者への、書面、FAX、電子メール	都市計画課 都市整備係 (都市再生整備 計画担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に天童市ホームページ、 窓口閲覧にて原案を公表して いる旨を掲載	平成31年1月15日発行	平成31年1月25日～2月8日		
説明会・ワークショップ					
その他	窓口閲覧 (建設部都市計画課)	平成31年1月25日～2月8日	平成31年1月25日～2月8日		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	是川 晴彦 (山形大学 人文社会科学部 教授)	第1回 平成31年3月19日	都市計画課 都市整備係 (都市再生整備計画担当課)	天童市社会資本総合整備計画(芳賀地区都市再生整備計画)評価委員会設置要綱	独自に設置 (地区内の各種団体代表者に学識経験者を含めた構成)
その他の委員	芳賀タウン南地区 第二町内会 会長 芳賀タウン北地区 住民代表 イオンモール天童 ゼネラル・マネージャー 天童市子育て未来館 げんキッズ 支配人				

審議事項		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	特になし
	成果の評価	指標2: 転入者数と転出者数について、数値以上の成果が感じられるといった意見があった。
	実施過程の評価	モニタリングや住民参加プロセス(芳賀タウン内の公園に係る説明会、近隣公園 公園開き)は適正に行われていたことを確認した。
	効果発現要因の整理	子育て支援施設、近隣公園、天童南駅等の施設がバランスよく連携できているとの意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案の公表について、適切に行われたことが確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きについて、適切に進められたことが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	主に次のような意見があった。 ・都市計画道路天童山形空港線の交通量が増加しており、安全の確保をより重要視する必要がある。 ・より安全な住環境の整備を図るため、天童市とイオンモール天童が防災協定を締結していることをもっと周知したほうが良い。 ・住宅地の緑が少ないと感じるため、生垣の助成金だけでなく、シンボルツリー等に助成するなど、若い世代に合った取組みも期待したい。 ・イオンモール天童では桜・芝桜の植樹を行っており、今後も定期的に行っていく予定である。 ・子育て支援施設については、従業員も協力し、今後は飽きさせない工夫をするなど、さらに充実した施設にしていく必要がある。 ・20~30年後、世代が変わっていく中で、空き家が出た場合すぐに入る人がいるよう、若者に視点を向けたまちづくりを行ってほしい。
	フォローアップ	特になし
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であることが確認された。
その他	特になし	